

FULL HEIGHT DOOR®

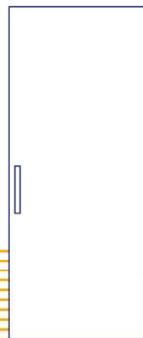
INSET MODE インセット枠

フルハイトドア

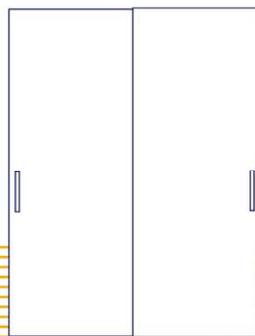
施工手順書

引込み戸ポケット戸・2枚引違い戸 【上吊タイプ】

引込みポケット戸
上吊タイプ



2枚引違い戸
上吊タイプ



施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



注意

● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けした場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので、扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

□引き込みポケット戸(上吊)

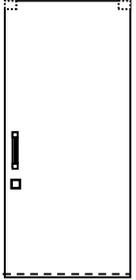
forインセット枠

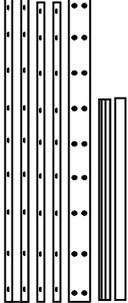
施工手順書2013/6更新

改訂2017/8

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			同梱品	鎌錠		
部材	数量	備考				
引き戸	1枚	引手取付済み(ヴェルチカはなし) 固定カップ取付済み 木口引手取付済 鎌錠の場合は カセットのみ取付済み	同梱品		※鎌錠付の場合のみ1セット 建具金物箱に同梱	
						

下地枠			同梱品	施工手順書		
部材	数量	備考				
縦枠下地	1本		同梱品			
中方立下地	2本					
片方立下地	1本					
上枠下地	1本					
開口定規	1本					
						

インセット枠			同梱品	MSビス		ビスキャップ																			
部材	数量	備考																							
縦枠	1本	鍵付の場合のみ鎌錠受取付済み	同梱品																						
					<table border="1"> <tr><td>1セット</td><td>H21</td><td>5本</td></tr> <tr><td></td><td>H24</td><td>5本</td></tr> <tr><td></td><td>H26</td><td>6本</td></tr> </table>	1セット	H21	5本		H24	5本		H26	6本	<table border="1"> <tr><td>1セット</td><td>H21</td><td>5ヶ</td></tr> <tr><td></td><td>H24</td><td>5ヶ</td></tr> <tr><td></td><td>H26</td><td>6ヶ</td></tr> </table>	1セット	H21	5ヶ		H24	5ヶ		H26	6ヶ	
1セット	H21	5本																							
	H24	5本																							
	H26	6本																							
1セット	H21	5ヶ																							
	H24	5ヶ																							
	H26	6ヶ																							

□引き込みポケット戸(上吊)

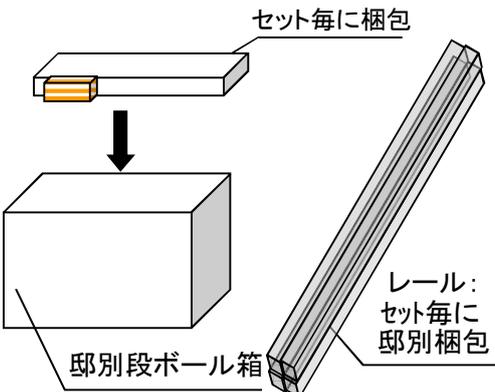
forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/8

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

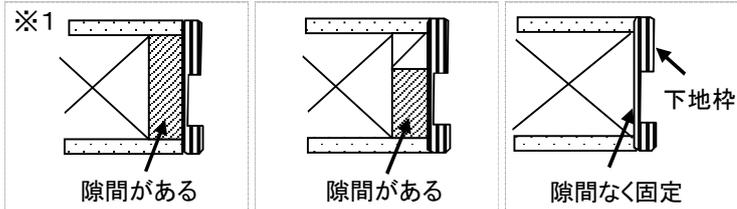
下地金物箱			引戸レール	上部吊車	上部吊車(両側スライダー付)
部材	数量	備考	 2本(付属ビス含む)	 1ヶ	 1ヶ
金物箱	1式				
レール	1式		同		
 セット毎に梱包 レール: セット毎に 邸別梱包 邸別段ボール箱			同		
			梱	 1ヶ(ビス2本)	 1ヶ(ビス1本)
			品		

□引き込みポケット戸(上吊)

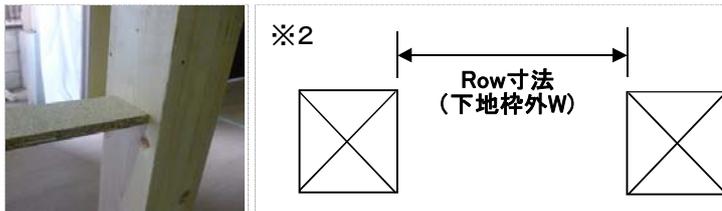
forインセット枠
 施工手順書2013/6更新
 改訂2017/8

1 施工前の確認事項

- ① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾(図面: ROW寸法)と、高さ(図面: 床仕上~開口高さ)の確認をしてください。
 (縦枠下地は、床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください)



X X O



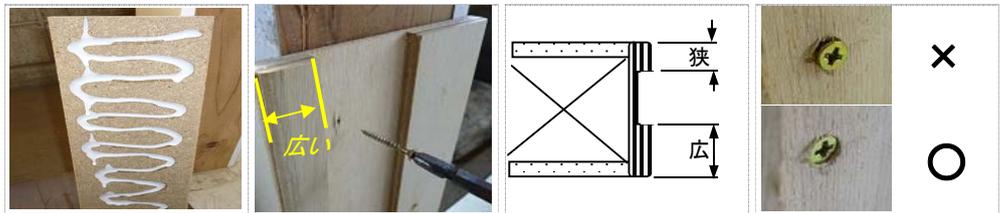
下地枠外Wの開口枠定規にて開口の確認

注意

- ※1: 下地枠は躯体(構造材)と面接合する様に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
 ※2: 施工前のW寸法確認には、同梱の下地枠外W寸法確認用の開口定規を使用してください。
 ※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

2 縦枠下地・片方立下地の取り付け

- ① 縦枠下地と片方立下地を、接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。(壁厚の真ん中に取り付けてください)
 なお、縦枠下地の向きは、図のように手前が縦枠下地の巾が広い方となります。



下地裏面に接着剤全面塗布 下地表よりビス固定 (L勝手の場合) 縦枠下地の取り付け向き (L勝手の場合) ビス固定の方法

注意

- ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします)
 ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
 ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

□引き込みポケット戸(上吊)

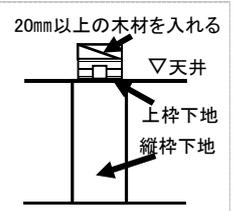
forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/8

3 上枠下地の取り付け

① 上枠下地を接着剤・取り付けビス（現場手配品）併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。（縦勝ちに納まります）その際、上枠下地の裏側には20mm以上の木材を入れてください。



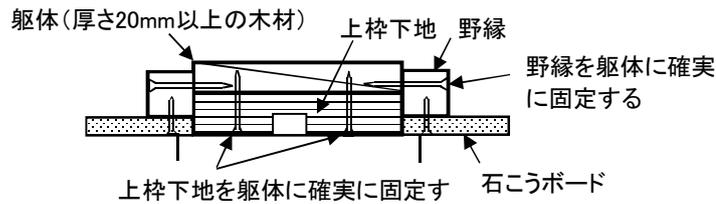
下地裏面に接着剤全面塗布

縦枠勝ちに納める

下地表よりビス固定

上枠下地の裏には20mm以上の木材を入れる

② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さを確保してしてください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。



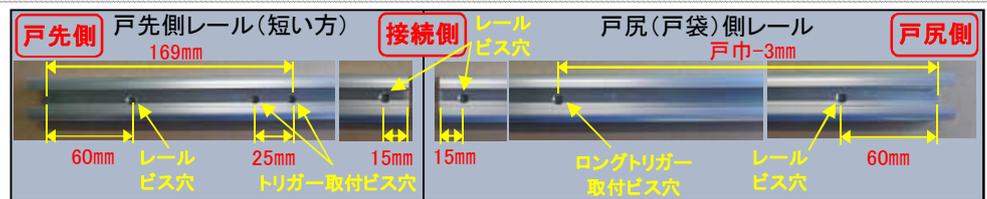
石膏ボードの厚さを確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁に石膏ボードを取付ける

注意

- ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビス系をお奨めします)
- ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
- ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。
- ※上枠下地の裏側には、必ず20mm以上の木材を入れてください。
- ※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロス割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。
- ※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。

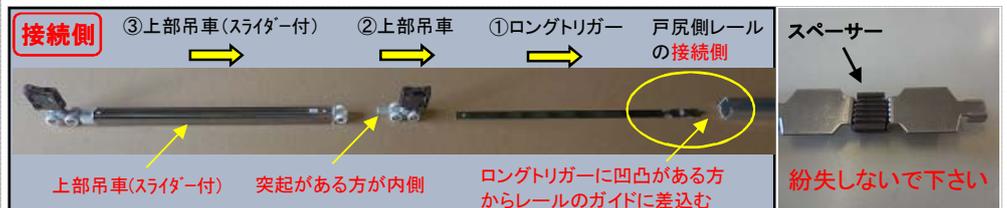
4 戸尻側引戸レール・ロングトリガーの取り付け

① 引戸レールを取り付ける際、戸先側・戸尻側の向きを確認してください。（2分割されていて、短い方が戸先側でトリガーが付きます。また、長い方は戸尻側でロングトリガーが付きます。）小壁を立てる前に、必ず戸尻側のレールを取り付けてください。レールは別途梱包にあります。



レール取り付け向きの確認（レール端部から15mmにビス穴がある側をそれぞれ接続側とする）
※ポケット戸専用レールの為、断面形状が異なる

② 戸尻側レールの接続側からまずはロングトリガーをガイド部に差し込み、その後上部吊車を戸尻側のレール内部に入れてください。（上部吊車のみが戸尻側、上部吊車(スライダー付)が接続側）付属のレール取付ビスで、レールを固定してください。ロングトリガーはロングトリガー取付ビスで固定して下さい。



吊車をレールに入れる

- ※ロングトリガーを戸尻側レール（接続側）のガイドに差し込んでから上部吊車をレール内部に入れる
- ※ロングトリガーは扉巾-3mmの位置にある穴に合わせて取付ける（1箇所止め）

注意

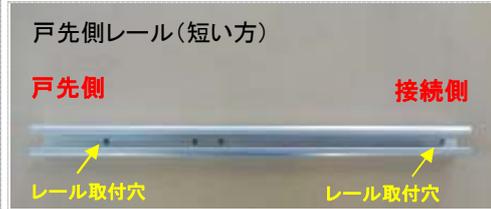
- ※戸尻側レール内部に入れる上部吊車の向きに注意してください。（突起がある方が内側）
- ※トリガーの取付穴には、レールビスを固定しないでください。（戸尻側レールには1箇所、トリガー取付穴があります。）
- ※ロングトリガーを戸尻側レール（接続側）のガイドに差し込んでから上部吊車をレール内部に入れてください。（上部吊車(スライダー付)をレール内部に入れてからロングトリガーをガイド部に差し込んで取付けると、ソフトクローズが機能しません。）
- ※レール取り付けビスは真直ぐ取り付けてください。ビスを斜めに付けるとロングトリガーがガイド内で引っ掛かり取り付けできません。
- ※小壁を立てる前に、必ず戸尻側レールを取り付けてください。（後から取り付けはできません）
- ※小壁施工後にロングトリガーを取り付ける際は、ドライバーの軸長さは100mm以上のものをご使用ください。（ドライバーの軸長が短いとビス頭が斜めに取り付けられてソフトクローズが干渉し、破損の原因となります。）
- ※ロングトリガーに付属のスペーサーを紛失しないでください。ロングトリガーの破損の原因となります。

□引き込みポケット戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6更新
 改訂2017/8

5 戸先側引戸レール・トリガーの取り付け

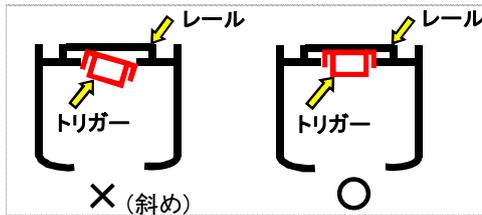
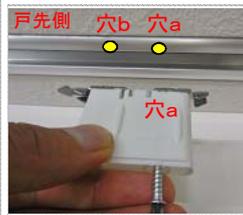
① レールを取り付ける際、取付向きを確認して付属のレール取付ビスで、戸先側レールを固定してください。
 戸先側レールにトリガーを取付ける前に、トリガーをトリガー取付け用治具にセットします。
 (矢印がある方が外側に向きます)
 金物は別途梱包にあります。



レール取付向きの確認

トリガーをトリガー取付け治具にセット

② 戸先側レール取付け後、レール部の穴aと、トリガーの穴aを合わせて取付けます。(その際に、戸先側と戸尻側を間違わないように取付けてください)穴aを完全に固定したら取り付け治具を引き抜き、穴bをビス止めします。



トリガーの穴を合わせる

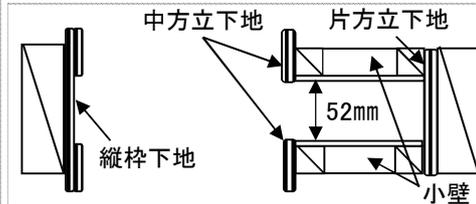
トリガー取付け方

注意

※戸先側レールに取付けるトリガーはポケット戸専用になります。ポケット戸以外で使われているトリガーは使用しないでください。(ソフトクローズの破損の原因となります。)
 ※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めすると、トリガーが変形してしまう恐れがあるので注意してください。
 ※トリガーはレールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーで固定してください。
 ※トリガーの取付穴には、レールビスを固定しないでください。(戸先側レールには2箇所、トリガー取付穴があります。)

6 中方立下地の取り付け

① 戸袋内部に小壁を立てます。
 (小壁~小壁の間は52mmあけてください)



小壁の立て方

② 小壁に、中方立下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にて固定します。(中方立下地は、床仕上げ面から上枠下地の下端までの長さです)



下地裏面に接着剤全面塗布

下地表よりビス固定

ビスの止め方

×

ビスの止め方

○

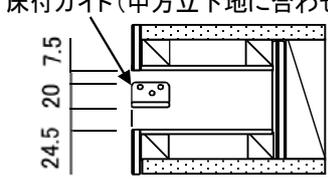
注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めます)
 ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
 ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

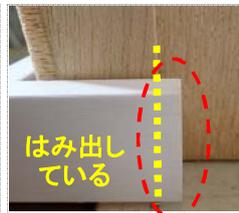
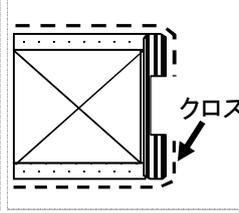
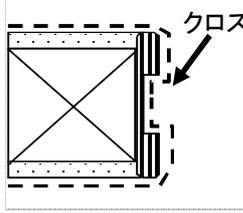
□引き込みポケット戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6更新
 改訂2017/8

7 ガイドの取り付け

<p>① ガイドを取り付けます。 金物は別途梱包にあります。</p>		<p>床付ガイド(中方立下地に合わせる)</p> 		
床付ガイドの取り付け				
				
<p>注意</p>	<p>※ガイドを取付ける際、下穴をあけてから取付けを行ってください。</p>			

8 巾木・クロス施工

<p>① 巾木を接着剤にて、縦枠下地のシャクリ部分の手前までまわしてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)</p>			 <p>はみ出している</p>	 <p>そろっている</p>
	接着剤全面塗布	巾木の取り付け方	巾木の取り付け方 ×	巾木の取り付け方 ○
<p>② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。(メッシュ+下塗り+上塗りをお奨めします) その際に、下地のシャクリ部分までクロス巻き込んでください。</p>			 <p>クロス</p>	 <p>クロス</p>
	メッシュテープ貼り	パテ処理	クロスの貼り方 ×	クロスの貼り方 ○
<p>注意</p>	<p>※上枠下地のレール溝部分は、クロスを貼り伸ばしてレール溝に巻き込んでください。</p>			

□引き込みポケット戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6更新
 改訂2017/8

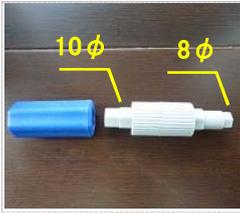
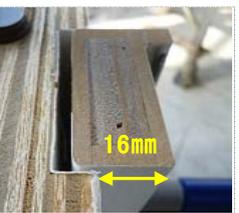
9 建具の吊り込み				
① ガイドに、建具下のガイド溝から建具を差し込みます。				
	床付ガイドを 建具溝に差し込む			
② 建具を起こしていきながら、建具上部の固定カップとレール内にある上部吊車を連結し、吊り込み完了です。				
	固定カップと上部吊車を 連結する	パチンの音を確認		
注意	※上部吊車と固定カップはパチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと、使用中、外れる恐れがあります。			
	※吊車を取り外す際、素手では外れない場合は、プライヤー等工具を使用し取り外してください。 ※建具の開閉は、勢いよくやりすぎるとソフトクローズが効かなくなったり、吊車が破損する可能性があるので注意してください。			

10 インセット枠の取り付け				
① インセット枠を下地のシャクリ部分にはめ込み、同梱のMSビスにて枠を固定します。全てのビス固定が終わったら、手動ドライバーで手締めして完全に固定してください。				
	インセット枠固定 (MSビス)	手動ドライバーで完全に固定		
注意	※インセット枠は正寸カットにて出荷していますので、現場にてカットしないでください。(床仕上面よりの立ち上りとなります)			

□引き込みポケット戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6更新
 改訂2017/8

11 MS金物の調整

<p>① 枠内寸法を確認し、戸先側のインセット枠に内蔵してあるMS金物を、8φの六角レンチにてロックを解除します。</p>				
<p>調整は10φの六角レンチで巾方向の調整を行います。(±2.0mm) その際、枠の出荷時の見付寸法はクロス後、14mmの設定ですので、12~16mmの範囲で調整してください。(16mm以上飛び出すと嵌合しなくなり、はずれる恐れがあります) 調整後は8φ六角レンチにて、必ずロックしてください。</p>				
<p>注意</p>	<p>※枠出荷時にはロックが掛かっていますので、必ずロックを解除して調整を行ってください。また、解除時に45°以上は回さないでください。(ロックを解除しないで調整を行うと、MS金物が破損する恐れがあります)</p>			

12 上部吊車・鎌錠受けでの調整

<p>① 吊り込み後に上部吊車にて調整を行う際は、上下調整は下側のネジ、前後調整は上側のネジにて手動ドライバーで行ってください。</p>			<p>【調整範囲】 上下方向±3.0mm 前後方向±2.0mm</p>	
<p>② 鎌錠受けにて調整する場合、上下調整は上下の固定ビスを緩め、鎌錠受けを手で上下に動かしてください。前後の調整は、内側にあるビスをまわして調整を行ってください。最後に、同梱のビスキャップをインセット枠の穴にはめ込みます。すべての穴に取り付けてください。</p>				
<p>注意</p>	<p>※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。 ※ソフトクローズ機能の調整はできません。</p>			

□ 2枚引き違い戸(上吊)

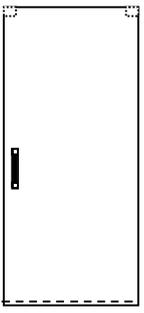
forインセット枠

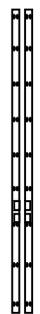
施工手順書2013/6更新

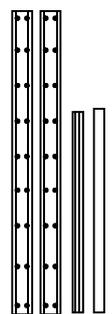
改訂2017/8

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			同					
部材	数量	備考						
引き戸	2枚	引手取付済み(ウェルチカはなし) 固定カップ取付済み						
				梱				
			品					

インセット枠			同	引戸レール	上部吊車	上部吊車(両側スライダー付)														
部材	数量	備考		 2本(付属ビス含む)	 2ヶ	 2ヶ														
				梱	トリガー・取付治具	床付ガイド														
				品	 2ヶ	 2ヶ(ビス6本付)														
				ビスキャップ		MSEビス														
				 1セット	<table border="1"> <tr><td>H21</td><td>10ヶ</td></tr> <tr><td>H24</td><td>10ヶ</td></tr> <tr><td>H26</td><td>12ヶ</td></tr> </table>	H21	10ヶ	H24	10ヶ	H26	12ヶ	 1セット	<table border="1"> <tr><td>H21</td><td>10本</td></tr> <tr><td>H24</td><td>10本</td></tr> <tr><td>H26</td><td>12本</td></tr> </table>	H21	10本	H24	10本	H26	12本	
H21	10ヶ																			
H24	10ヶ																			
H26	12ヶ																			
H21	10本																			
H24	10本																			
H26	12本																			

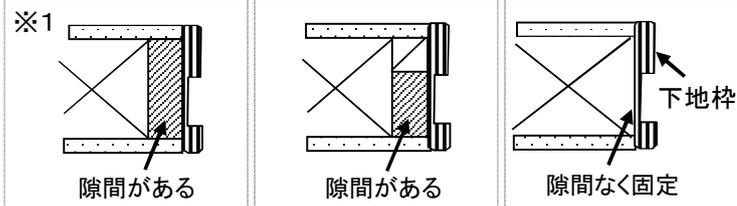
下地枠			同	施工手順書				
部材	数量	備考						
縦枠下地	2本							
上枠下地	1本			梱				
開口定規	1本		品					
								

□2枚引き違い戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6更新
 改訂2017/8

1 施工前の確認事項

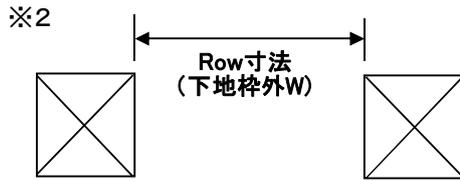
- ① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ROW寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。
 （縦枠下地は、床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）



×

×

○



下地枠外Wの開口枠定規にて開口の確認



注意

- ※1：下地枠は躯体（構造材）と面接合する様に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
 ※2：施工前のW寸法確認には、同梱の下地枠外W寸法確認用の開口定規を使用してください。
 ※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

2 縦枠下地の取り付け

- ① 縦枠下地を接着剤・取り付けビス（現場手配品）併用にて躯体に固定します。（壁厚の真ん中に取り付けてください）



下地裏面に接着剤全面塗布



下地表よりビス固定



ビス固定の方法

×



ビス固定の方法

○

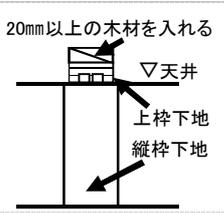
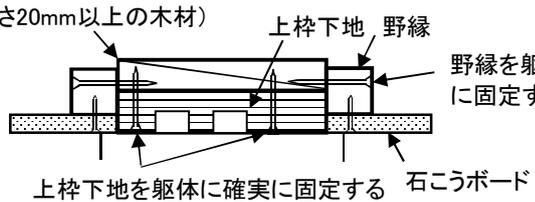
注意

- ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします)
 ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
 ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛びさないようにしてください。

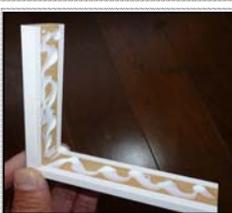
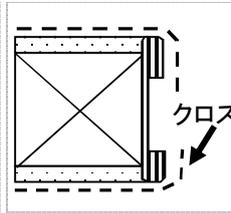
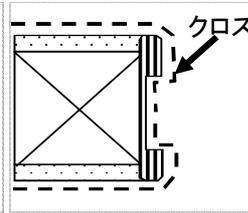
□2枚引き違い戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6更新
 改訂2017/8

3 上枠下地の取り付け

<p>① 上枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。(縦勝ちに納まります)その際、上枠下地の裏側には20mm以上の木材を入れてください。</p>	 <p>下地裏面に接着剤全面塗布</p>	 <p>縦枠勝ちに納める</p>	 <p>下地表よりビス固定</p>	 <p>20mm以上の木材を入れる ∇天井 上枠下地 縦枠下地</p> <p>上枠下地の裏には20mm以上の木材を入れる</p>
<p>② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さを確保してしてください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。</p>	 <p>躯体(厚さ20mm以上の木材) 上枠下地 野縁 野縁を躯体に確実に固定する 上枠下地を躯体に確実に固定する 石膏ボード</p> <p>石膏ボードの厚さを確保して、野縁を躯体に固定 その後、野縁に石膏ボードを取付ける</p>			
<p>注意</p>	<p>※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします) ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。 ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛びさないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。 ※上枠下地の裏側には、必ず20mm以上の木材を入れてください。 ※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロス割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。 ※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。</p>			

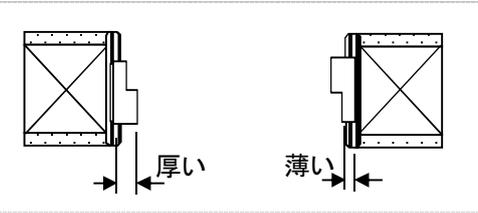
4 巾木・クロス施工

<p>① 巾木を接着剤にて、縦枠下地のシャクリ部分の手前までまわしてください。(接着剤は許ビス系をお奨めします)</p>	 <p>接着剤全面塗布</p>	 <p>巾木の取り付け方</p>	 <p>巾木の取り付け方 ×</p>	 <p>巾木の取り付け方 ○</p>
<p>② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。(メッシュ+下塗り+上塗りをお奨めします)その際に、下地のシャクリ部分までクロスを巻き込んでください。</p>	 <p>メッシュテープ貼り</p>	 <p>パテ処理</p>	 <p>クロス貼り方 ×</p>	 <p>クロス貼り方 ○</p>
<p>注意</p>	<p>※上枠下地のレール溝部分は、クロスを貼り伸ばしてレール溝に巻き込んでください。</p>			

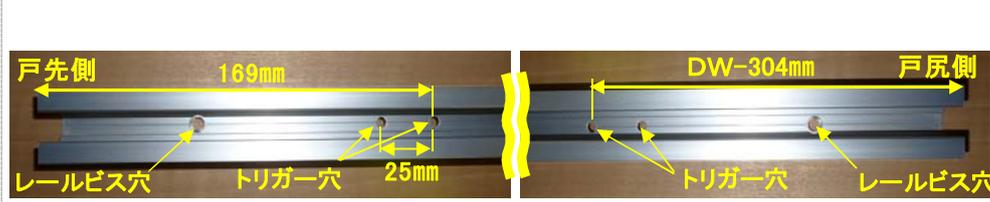
□2枚引き違い戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6更新
 改訂2017/8

5 インセット枠の取り付け

<p>① インセット枠を下地のシャクリ部分にはめ込み、同梱のMSビスにて枠を固定します。(向って左側はインセット枠断面が厚い方、右側は薄い方) 全てのビス固定が終わったら、手動ドライバーで手締めして完全に固定してください。</p>	 <p>インセット枠固定 (MSビス)</p>	 <p>インセット枠の向き 向って左側が厚い方、右側が薄い方</p>	 <p>手動ドライバーで完全に固定</p>
			
<p>注意 ※インセット枠は正寸カットにて出荷していますので、現場にてカットしないでください。(床仕上面よりの立ち上りとなります)</p>			

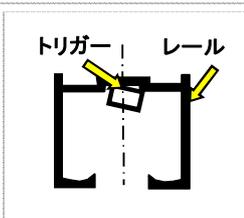
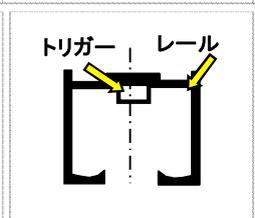
6 引戸レールの取り付け

<p>① 引戸レールを取り付ける際、戸先側・戸尻側の向きを確認してください。(両側ソフトクローズ付の為、両側にトリガー穴加工がされていて、距離の短い方が戸先側になります) レールは別途梱包にあります。</p>	 <p>レールの戸先側の向き確認</p>		
<p>② 上部吊車をレール内部に入れてください。(上部吊車(スライダー付)が戸先側、上部吊車のみが戸尻側) 付属のレール取付ビスで、レールを固定してください。</p>	 <p>吊り車をレールに入れる</p>		
<p>注意 ※戸尻側の吊り車の向きに注意してください。(突起がある方が内側) ※トリガー取付穴には、レールビスを固定しないでください。</p>			

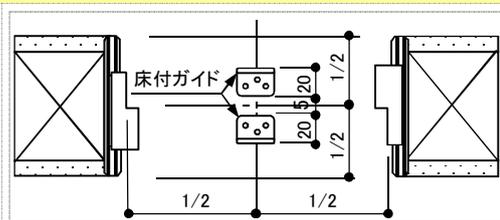
□2枚引き違い戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6更新
 改訂2017/8

7 トリガーの取り付け

<p>① トリガーを取り付ける前に、トリガーを取り付け用治具にセットします。(矢印がある方が戸先・戸尻側共、外側に向きます) 金物は別途梱包にあります。</p>				
<p>② レール取り付け後、レール部の穴aと、トリガーの穴aを合せて取り付けます。(その際に戸先側と戸尻側を間違わないように取り付けてください) 穴aを完全に固定したら取り付け治具を引き抜き、穴bをビス止めします。</p>				
<p>注意</p>	<p>※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めすると、トリガーが変形してしまう恐れがあるので注意してください。 ※トリガーはレールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーで固定してください。</p>			

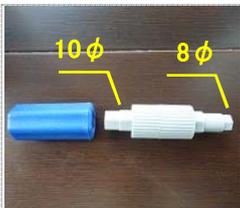
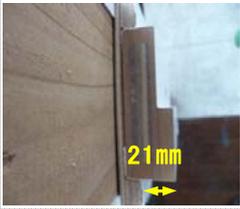
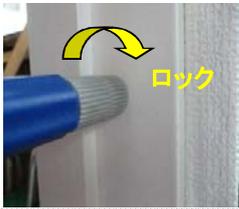
8 ガイドの取り付け

<p>① タイプに応じたガイドを取り付けます。 金物は別途梱包にあります。</p>			
	<p>床付ガイドの取り付け</p>		
<p>注意</p>	<p>※ガイドを取付ける際、下穴をあけてから取付けを行ってください。</p>		

□ 2枚引き違い戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6更新
 改訂2017/8

9 建具の吊り込み				
① ガイドに、建具下のガイド溝から建具を差し込みます。				
	床付ガイドを建具溝に差し込む			
② 建具を起こしていきながら、建具上部の固定カップと、レール内にある上部吊車を連結し吊り込み完了です。				
	固定カップと 上部吊車を連結する	パチンの音を確認		
注意	※上部吊車と固定カップは、パチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと、使用中、外れる恐れがあります。 ※吊車を取り外す際、素手では外れない場合は、プライヤー等の工具を使用し取り外してください。			

10 MS金物の調整				
① 枠内寸法を確認し、戸先側のインセット枠に内蔵してあるMS金物を、8φの六角レンチにてロックを解除します。				
	六角レンチ	ロック解除 (8φ)		
② 調整は10φの六角レンチで中方向の調整を行います。(±2.0mm) その際、枠の出荷時の見付寸法はクロス後、14mmの設定ですので、12~16mmの範囲で調整してください。(16mm以上飛び出すと嵌合しなくなり、はずれる恐れがあります) 調整後は8φ六角レンチにて、必ずロックしてください。				
	左右の調整 (10φ) (±2mm)	引っ込めた状態 (見付21mm)	飛び出した状態 (見付25mm)	ロック (8φ)
注意	※枠出荷時には、ロックが掛かっていますので必ずロックを解除して調整を行ってください。また、解除時に45°以上は回さないでください。 (ロックを解除しないで調整を行うと、MS金物が破損する恐れがあります) ※建具の開閉は、勢いよくやりすぎるとソフトクローズが効かなくなったり、吊車が破損する可能性があるので注意してください。			

□2枚引き違い戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6更新
 改訂2017/8

11 上部吊車			
① 吊り込み後に上部吊車にて調整を行う際は、上下調整は下側のネジ、前後調整は上側のネジにて手動ドライバーで行ってください。			【調整範囲】 上下方向±3.0mm 前後方向±2.0mm
	上部吊車 上下の調整	上部吊車 前後の調整	
② 最後に、同梱のビスキャップをインセット枠の穴にはめ込みます。すべての穴に取り付けてください。			
	ビスキャップの取り付け		
注意	※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。 ※クローズ機能の調整はできません。		